Polyethylene welding rod,有限会社ティークラフト,R04-AA-BB-CC

安全データシート（SDS）

1. 化学品及び会社情報

- 製品名: ポリエチレンロッド（Polyethylene welding rod）
- 製品品番: 5003R4、R4-1、5004、R04-AA-BB-CC 他
- 推奨用途: プラスチック溶接機を使用した破損した PE 部品の修理（業務用）

供給者の会社名称、住所及び電話番号

- 供給者の会社名称: 有限会社ティークラフト
- 住所: 〒444-2134 愛知県岡崎市大樹寺 2 丁目 17 番地 3
- 担当部署: プラスチックリペア事業部
- 電話番号: 0564-28-5319
- 担当者: 田中

2. 危険有害性の要約

- GHS 分類:
  - 物理化学的危険性: 分類できない（常温では危険性なし）
  - 健康に対する有害性: 分類できない（常温では危険性なし。加熱時に煙や蒸気が上気道を刺激する可能性あり）
  - 環境に対する有害性: 分類できない
- 絵表示またはシンボル: 該当なし（Not Applicable）
- 注意換気語: 該当なし
- 危険有害性情報: 常温での使用において特段の危険性はありません。加熱・燃焼時は刺激性の煙やガスが発生します。
- 注意書き: 常温時は特になし。高温作業時は適切な換気および保護具を着用すること。

3. 組成及び成分情報

- 化学物質・混合物の区別: 混合物
- 成分情報:
  - ポリエチレン（ホモポリマー）: 含有量 98〜100%、CAS 番号: 9002-88-4
  - 独自の添加剤: 含有量 2%未満、CAS 番号: 混合

4. 応急処置

- 目に入った場合: 大量のエアーや水で直ちに洗浄し、必要に応じて医師の相談を受けること。冷たい固形物は眼の刺激を引き起こすとは考えられていない。
- 皮膚に付着した場合: 常温の製品では特になし。溶融した高熱の物質が皮膚に付着した場合は、直ちに水で冷やすこと。固化した材料を無理に剥がそうとしたり、溶剤やシンナーを使用したりしないこと。速やかに医師の診察を受けること。
- 吸入した場合: 過熱または燃焼によるフューム（煙）を吸入した場合は、速やかに新鮮な空気のある場所に移動させ、症状が続く場合は医師の連絡・診断を受けること。
- 飲み込んだ場合: 物理的形態から通常の摂取は想定されない。万が一飲み込んだ場合は、医師の診断なしに無理に嘔吐させないこと。

5. 火災時の措置

- 適切な消火剤: 水、水ミスト、粉末消火剤、二酸化炭素（CO2）、フォーム（泡）。表面燃焼材料であるため、原則として噴霧ノズルからのスプレー状の水を使用する。高速度の水の適用やまっすぐな水流は粉塵の舞い上がりによる粉塵爆発の危険があるため使用しないこと。
- 特有の危険有害性: 分解または燃焼により、刺激のある煙やフュームを放出する。また、ポリエチレンを大量に保管すると爆発の危険性があるエチレンガス（爆発下限 2.7%以下に管理）が蓄積するおそれがある。
- 消火作業者の保護: 自給式呼吸器（SCBA）および防火服等の適切な保護具を着用すること。

6. 漏出時の措置

- 漏出時の対応: 液体材料がこぼれた場合は、冷却して固化させること。滑り落ちる危険を防ぐため掃除し、粉塵の発生や吸入を避けること。回収した材料を処分容器に入れ、適用される規制に従って廃棄すること。地表水や排水溝へ流出させないこと。

7. 取扱い及び保管上の注意

- 取扱い: 子供の手の届かないところに保管すること。業務用のみとし、一般への販売を意図していない。すべてのプラスチック材料は静電気を発生する可能性があるため、爆発性混合物の周囲では使用しないこと。
- 保管: 涼しく乾燥した換気の良い場所に保管すること。熱や火のそばを避けること。

SDSR04 ポリエチレンロッド.pdf

8. 暴露防止及び保護措置

- 管理濃度 / 許容濃度: 設定なし
- 設備対策: 通常の作業では特別な換気は必要ないが、運転条件によって高濃度の気体またはフューム（煙）が生じる場合は、全般換気および局所排気装置を設けること。
- 保護具:
    - 呼吸用保護具: 通常の作業では不要。加熱・溶融時に煙や臭気が発生する場合や、換気が得られない場所で作業を行う場合は、適切な呼吸用保護具（国家検定合格品、または NIOSH 認定等の防毒マスク・防塵マスク等）を着用すること。
    - 手の保護具: 溶融した高熱樹脂の接触による熱傷、および高温になる溶接トーチ先（ノズル周辺）に直接触れて火傷をするのを防ぐため、加熱・溶融作業時は耐熱手袋を着用すること。
    - 眼・面の保護具: 切削・研磨時や、樹脂の飛散・削りかすが目に入るおそれがある場合は、ゴーグルまたは安全眼鏡を着用すること。

9. 物理的及び化学的性質

- 外観: 丈夫で半透明の白い革のような樹脂製の棒、直径約 1/8 インチ（製品により異なる）
- 臭い: 無し（または微臭）
- pH: 決まっていない
- 融点: 90 〜 140℃
- 比重（密度）: 0.9 〜 1.02
- 溶解度: 水に不溶

10. 安定性と反応性

- 化学的安定性: 安定
- 避けるべき条件: すべてのプラスチック材料は静電気を発生する可能性があるため、爆発性混合物の周囲での使用。極端な熱。
- 混触危険物質: フッ素（F_2）と激しく反応する。
- 危険有害反応可能性: 危険な重合は起こらない

- 危険な分解生成物: 分解するまで加熱すると、刺激のある煙とフュームを放出する。

11. 有害性情報

- 毒性情報: 本製品としての毒性試験データはない。経口摂取、皮膚吸収、吸入いずれも毒性はないと推定されるが、高温時の溶融物は皮膚熱傷を引き起こす。加熱時のフュームは上気道を刺激する場合がある。

12. 環境影響情報

- 残留性と分解性: この物質は容易に生分解されるとは考えられていない。
- 生体内蓄積: 生体内蓄積しない。
- 生態毒性: 地表水を汚染しないよう注意すること。

13. 廃棄上の注意

- 廃棄方法: 安全で実用的な場合は材料を回収し、地域の環境当局・保健機関や公的規制（廃棄物処理法等）に従って承認された方法・施設にて処分を行うこと。
- 容器・包装の適正な処理方法: 公的規制に従って適切に処理すること。

14. 輸送上の注意

- 輸送規制: 非該当（国連分類上の危険物または有害物として規制されていません）

15. 適用法令

- 労働安全衛生法（安衛法）: 固体の安定した高分子化合物（ポリマー）であるため、通常、安衛法の「通知対象物質（表示・文書交付義務）」に該当しない。
- 化学物質排出把握管理促進法（PRTR 法）: 非該当
- 消防法: 固体の合成樹脂（プラスチック）であるため、危険物（第 4 類など）には該当しません。ただし、一定量以上をまとめて保管する場合、自治体の「火災予防条例」に基づく「指定可燃物（合成樹脂類）」に該当し、保管量の届出や防火上の制限を受ける場合があります。

16. その他の情報

- 参考文献:
    - パーツ供給元提供 SDS

- GHS Hazcom 2012 / GHS 分類ガイダンス
- JIS Z 7253 : 2019
- JIS Z 7252 : 2019

責任の限定について

この安全データシート（SDS）は、部品供給元から提供された情報等に基づき、JIS Z 7253 に準拠して作成しています。記載内容は現時点で入手できるデータに基づくものであり、将来の知見によって変更される場合があります。また、通常の取扱いを対象としたものであり、特殊な取扱いの場合には十分な安全対策を実施の上でご利用ください。

ここに記載した GHS 分類区分の算定根拠は、現時点における日本公表データ（NITE）です。